

本年度の結果

	英語
阿蘇市	45
全国	56.0

領域別	聞くこと	読むこと	書くこと
阿蘇市	62.9	45.6	30.0
全国	67.9	55.6	45.8

観点別	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識理解
阿蘇市	0.0	37.5	52.1
全国	1.8	44.7	64.7

本年度の主な結果について

- 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴を捉え、正しく聞き取ることはできている。
- 領域別では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」、観点別では、「外国語表現の能力」「外国語理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」に課題がある。
- 特に、与えられた話題について自分の意見や考えなどを論理的に書くことについては、全国的に厳しいが、本市の大きな課題の1つでもある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

○語と語の連結による音変化を捉えて、情報を正確に聞き取ることができること(1(1))

【課題】

聞くこと

- 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる(1(3))
- 聞いて把握した内容について、適切に応じることができる(4)

読むこと

- まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる(6)
- まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる(7)
- 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えることができる(8)

書くこと

- 一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる(9(2)②)
- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる(9(3)②)
- 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる(10)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

○「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という問いには、好意的に捉えている生徒が多い。

【課題】

- 「英語が好き、内容がよく分かる。」は、全国と比べて大きく下回っている。
- 自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合ったり書いたりする活動が行われていたと解答した生徒が、全国と比べて少ない。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 1単位時間の授業プランを基に、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返りをする。
- まとまりのある文章を書くためには、文と文の順序や相互の関連にも注意をはらい、全体として一貫性のある文章を書くことができるように指導を行う。
- 話すことと書くことをつなげた統合的な言語活動を意識的に取り入れた指導を行う。
- スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動を取り入れた指導を行う。

【日常的な取組】

- 聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動を取り入れる。ALTとも日常的に英会話を積極的に進める。
- 基礎的・基本的事項の確実な定着を図るとともに、英語版速音読にも積極的に取り組む。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を家庭学習で出し、書くことに慣れさせる。